



亢は、𡗗で手を広げ、足を大きくふんばり、通せんぼ
をしている形を象ったもの。抗の本字で“ふせぐ”“こば
む”“さからう”が本義の字です。転じて“たかぶる”の意

になりました。亢奮。亢進(たかまり進む)。音は^{コウ}高です。

抗は、“こばむ”という意味の亢と手との会意形声字で、音は^{コウ}亢です。

“手をあげてふせぎこばむ”という意味の字です。抵抗。反抗。

抗議。抗戦。

忼は、“たかぶる”意味の亢と心との会意形声字で、“心がたかぶる”
という意味の字です。悲憤忼慨。

航は、“抵抗”の意味の亢と舟との会意形声字で“川の流れ、潮の流
れにさからうて舟を進める”という意味の字。“舟を目的地に向け
て進める”のが本義ですが、今では飛行機の場合にも使います。
「航海」→「航空」。「航路」→「航空路」。

坑は、「亢進」や「航行」の意味の亢と土との会意形声字です。土地
にあなを掘り進めることは大変に抵抗の多い仕事ですが、その
困難にさからうて、掘り進めた“あな”が「坑」です。“地中に掘り
あけた深いあな”のことを言います。今では石炭や鉱石を採掘

するための“あな”を言います。炭坑。金坑。坑内。坑道。

杭は、^{コウ}高の意味の亢と木との会意形声字で、“高く突き出た木”つまり、
“棒くい”のことです。